

京都市市民活動総合センター指定管理者募集に関する質疑の回答

| No | 種 別                        | 質 問                                                                                                                            | 回 答                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 審査項目について                   | 「事業の方向性・内容」が25点と最も高い項目となっている。京都市で最も評価したいポイントがあれば、可能な範囲でご教示いただきたい。例えば、評価する観点としては、企業や団体との協働・連携の強化、若年層の市民活動参加の促進、NPO支援の強化などがあるのか。 | 「事業の方向性・内容」は、配分点と補正係数が最も高く設定されている、重要な審査項目です。京都市市民活動総合センターの設置目的を達成するため、具体的で独創的、かつ実現可能性の高い事業計画を高く評価します。企業や団体、大学等との多様なネットワークの構築、若年層を含む潜在的関心層へのアプローチ、NPOやボランティア団体への総合的・多角的な支援等は、評価の観点に含まれます。                                                                                                          |
| 2  | 現指定管理者の実績評価及び課題について        | 現指定管理機関における現指定管理者の評価及び改善を求められている課題事項について、可能な範囲でご教示いただきたい。                                                                      | 本市では、京都市市民活動センターの効果的かつ効率的な管理運営並びに市民サービスの向上を図るため、学識経験者や市民活動団体代表者、市民公募委員による「京都市市民活動センター評価委員会」を設置し、管理運営についての評価を行っています。過去の評価内容は、以下をご参照ください。<br>【参考】過去の評価報告書(ページ中段)<br><a href="https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000226902.html">https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000226902.html</a> |
| 3  | 基本情報について                   | 市民活動総合センターの最新年度の利用者数とその属性(性別、年代など)を可能な範囲でご教示いただきたい。                                                                            | 令和7年度の来館者数は81,466人(1日平均235.5人)でした。来館者の性別、年代等の詳細は把握しておりません。                                                                                                                                                                                                                                        |
| 4  | 施設運営における自主事業の自由度について       | 施設の設置目的に合致する範囲内で、企業協賛事業や交流イベント、ワークショップ、その他収益事業等の自主事業を実施することは可能か。また、その場合の収益の取り扱いはどうなるのか。                                        | 自主事業は、市民活動総合センターの設置目的に合致し、指定管理業務に支障をきたさない範囲で実施可能です。実施する際には、あらかじめ本市の承認を得ていただく必要があります。自主事業による収益は、原則として指定管理者に帰属します。一方で、指定管理者が本市の資産・資源を活用する以上、自主事業の収入を、指定管理者の収益として過度に振り向けることは適当ではないと考えております。収益の使途や市民への還元については、本市との協議を通じて適切に調整していく必要があります。                                                             |
| 5  | 指定管理業務により構築したネットワークの活用について | 指定管理業務を通じて受託者が新たに構築した企業や団体等とのネットワークに対し、受託者独自のビジネス提案をしていくことは制限されるのか。                                                            | 指定管理業務は、本市から委託された公的な業務であり、当該業務を通じて構築したネットワークや取得した情報を、受託者独自のビジネスなど自己の利益のために利用することは、募集要項に定める「秘密保持義務」及び「個人情報保護」の観点から、原則として認められません。ただし、構築した関係性や資源を活用して、市民活動総合センターの設置目的に合致し、かつ市民の公益・利便性の向上に直接寄与する事業については、本市の事前承認を得たうえで実施できる場合があります。                                                                    |